

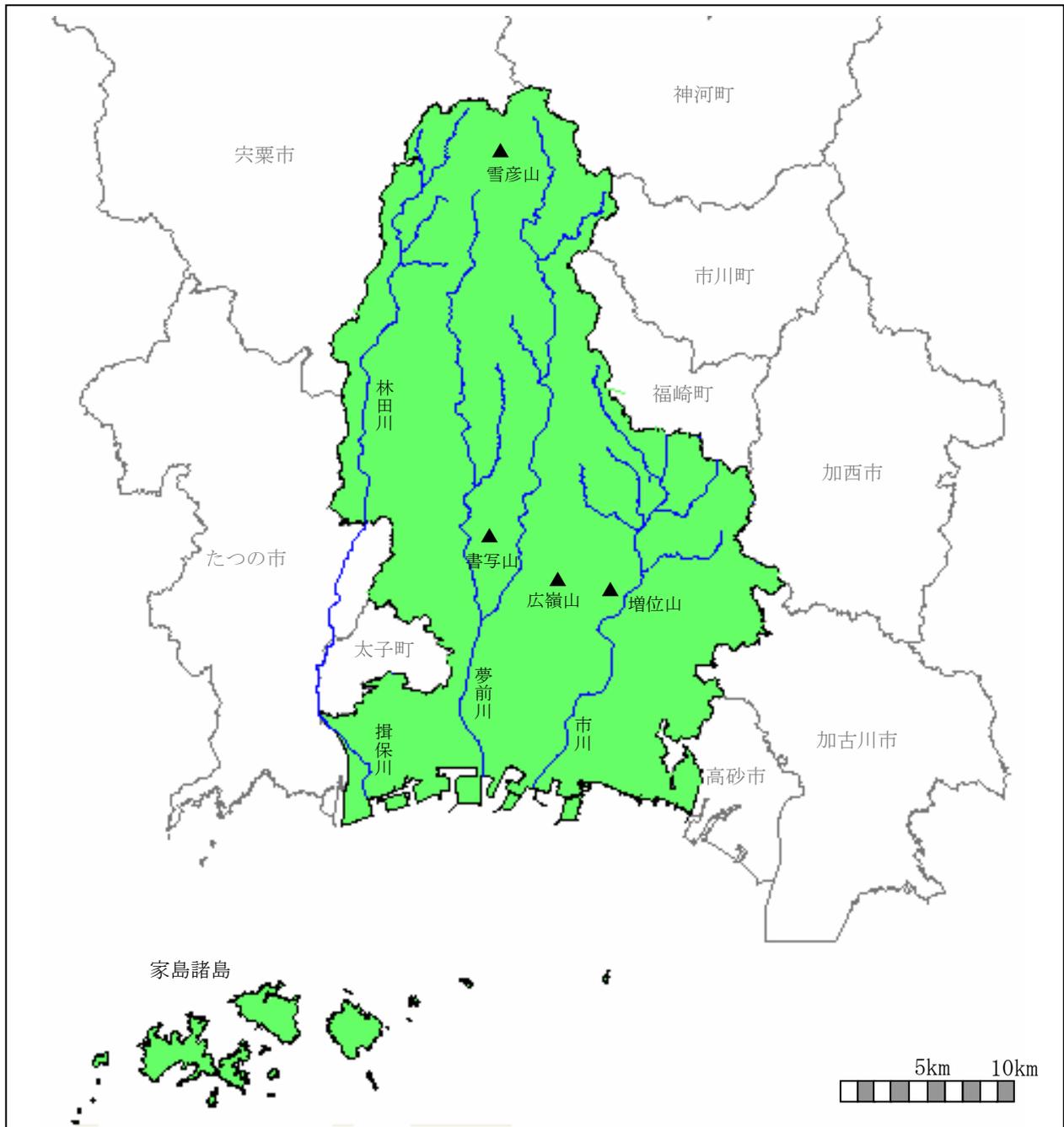
第4章 市の地理的、社会的特徴

市は、保護措置を適切かつ迅速に実施するため、考慮しておくべき市の地理的、社会的特徴等について示す。

1 地形

本市は、兵庫県の南西部、播磨平野のほぼ中央、近隣の主要都市との距離は、神戸市まで約50km、岡山市まで約70km、鳥取市まで約90kmという位置にあり、北部は宍粟市、神河町、市川町、福崎町、西部はたつの市、太子町、東部は加西市、加古川市、高砂市と接している。

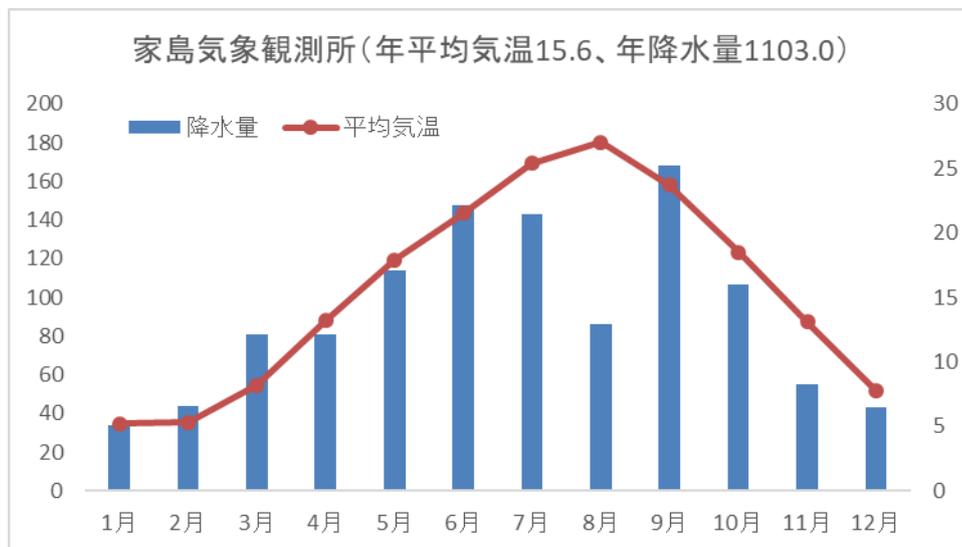
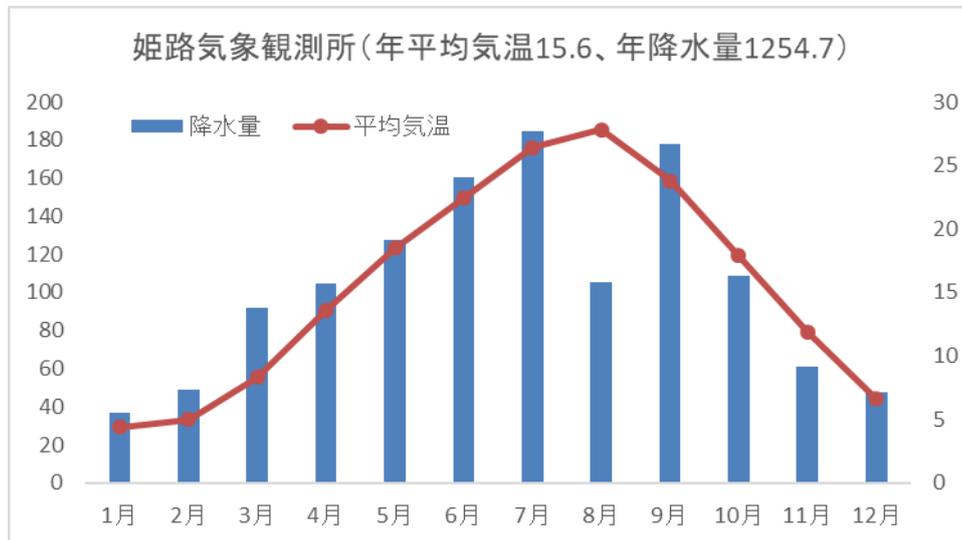
市域には、中国山地系の増位、広嶺、書写、雪彦等の山々が連なっている。また、中国山地を水源とする市川、夢前川、揖保川等の河川が南流し、河川により形成された沖積平野に市街地が形成されている。市域の南部は、瀬戸内海に面し、家島諸島が位置する。



2 気候

本市は、北部の中国山地から続くなだらかな丘陵山地を背に南を瀬戸内海に面し、温暖で降水量が比較的少ない瀬戸内海型気候に属する。

【市内の気象観測所における平均気温と降水量(1991年～2020年の平均値)】(気象庁)

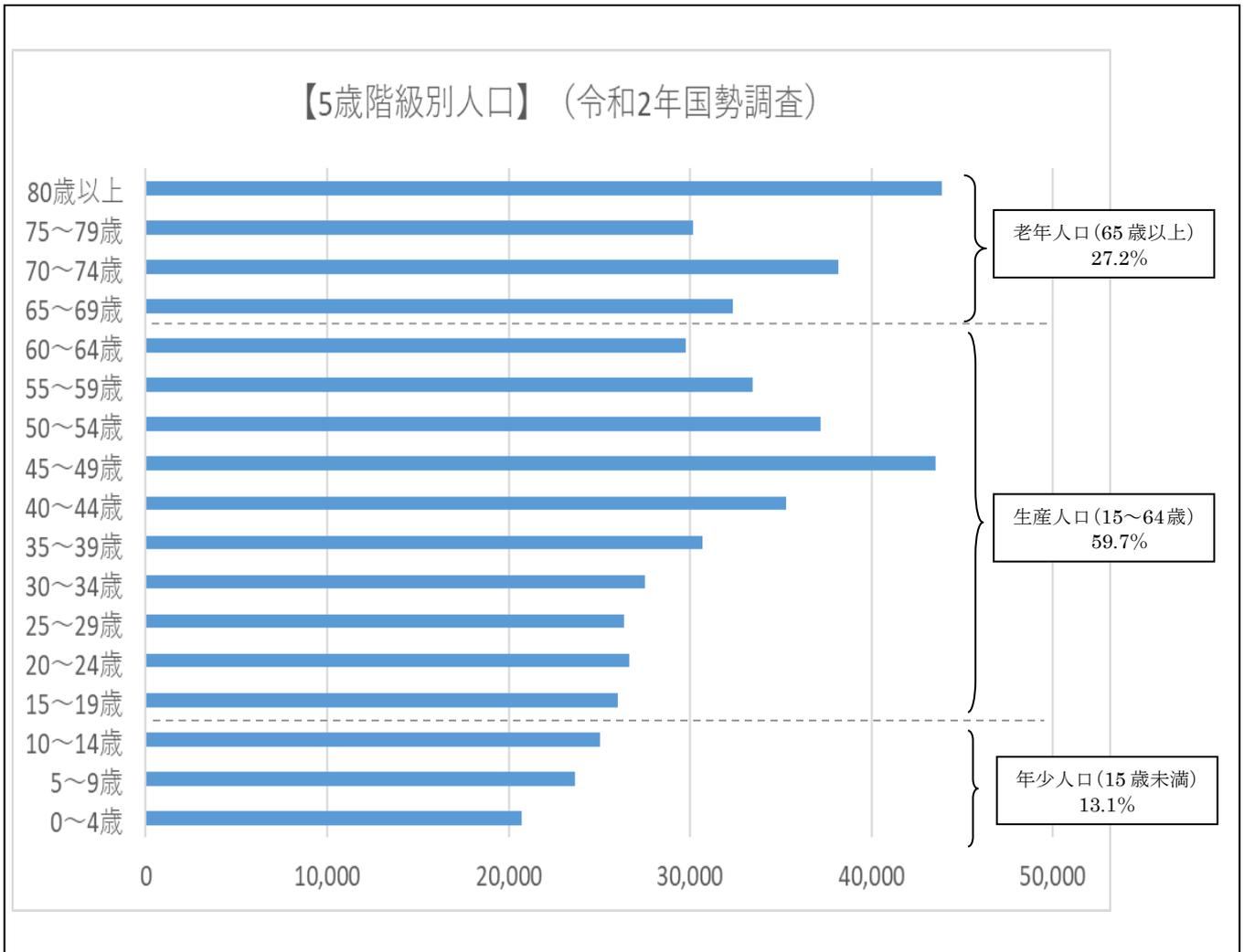


3 人口

令和2年国勢調査によると、本市の人口は、530,495人で、兵庫県人口の9.7%を占め、神戸市に次いで県内2位となっている。

年齢別に見ると、市全体において15歳未満(年少人口)が総人口に占める割合は13.1%、15～64歳(生産人口)は59.7%、65歳以上(老年人口)の人口は27.2%となっている。

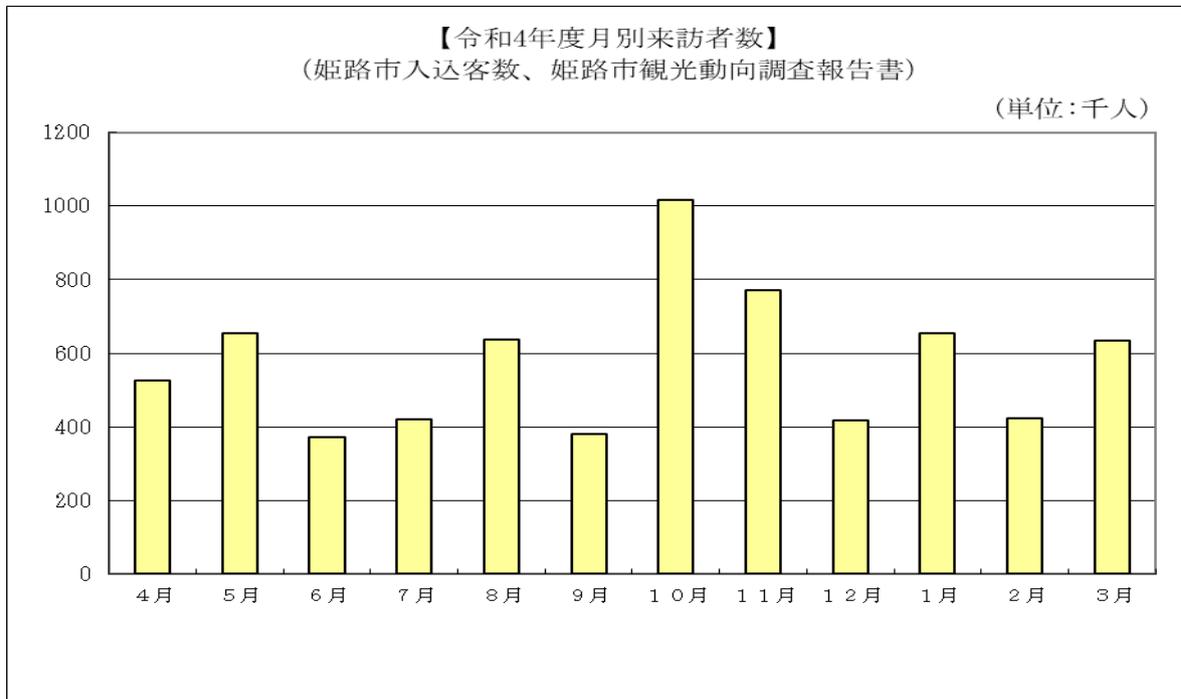
市域における人口分布は地域間で格差があり、市街化調整区域(全市の36.3%)に約1割、市街化区域(全市の21.3%)に約8割、未都市計画区域(全市の42.4%)に約1割、なかでも姫路駅を中心とした中心市街地や臨海部の市街地が密度の高い居住地となっている。



4 観光等における来訪者

本市は世界文化遺産・国宝姫路城をはじめ、豊富な観光資源に恵まれ、毎年多数の観光客が訪れているが、令和4年度の総来訪者数は690万4千人となっている。うち「観光施設来訪者数」が全体の56.7%（391万2千人）、「まつり・イベント来訪者数」が全体の24.8%（171万3千人）、「スポーツ等来訪者数」が全体の18.5%（127万9千人）となっている。

主要観光施設を「姫路城周辺」、「アクリエひめじ」、「手柄山周辺」、「書写山周辺」、「桜山周辺」の5つのゾーンと「その他」に分けた調査では、「姫路城周辺」が全体の48.4%（188万3千人）、次いで姫路セントラルパークの含まれる「その他」が18.0%（70万2千人）、県立こどもの館等が含まれる「桜山周辺」が11.8%（46万1千人）、「アクリエひめじ」が10.1%（39万3千人）、「手柄山周辺」が6.7%（26万2千人）、「書写山周辺」が5.0%（19万3千人）となっている。



5 交通

(1) 道路

本市は、播磨地域の中心として古くから畿内と中国・四国地方を結ぶ交通の要衝にある。主要な道路としては、東西方向に中国自動車道、山陽自動車道、国道2号線、姫路バイパスが横断している。このほか、国道250号線や国道372号線などがある。

一方、市を南北方向に縦断する道路としては、播但連絡道路や国道29号線、国道312号線などがある。

(2) 鉄道

市内の鉄道は、西日本旅客鉄道が山陽新幹線、山陽本線、播但線、姫新線の4路線、16駅、山陽電気鉄道が本線、網干線の2路線、15駅あり、通勤・通学や地域の人々の日常生活の重要な移動手段となっている。

	路線名	駅名
西日本旅客鉄道	山陽新幹線	姫路駅
	山陽本線	ひめじ別所駅、御着駅、東姫路駅、(姫路駅)、英賀保駅、はりま勝原駅、網干駅
	播但線	(姫路駅)、京口駅、野里駅、砥堀駅、仁豊野駅、香呂駅、溝口駅
	姫新線	(姫路駅)、播磨高岡駅、余部駅、太市駅
山陽電気鉄道	本線	山陽姫路駅、手柄駅、亀山駅、飾磨駅、妻鹿駅、白浜の宮駅、八家駅、的形駅、大塩駅
	網干線	(飾磨駅)、西飾磨駅、夢前川駅、広畑駅、山陽天満駅、平松駅、山陽網干駅

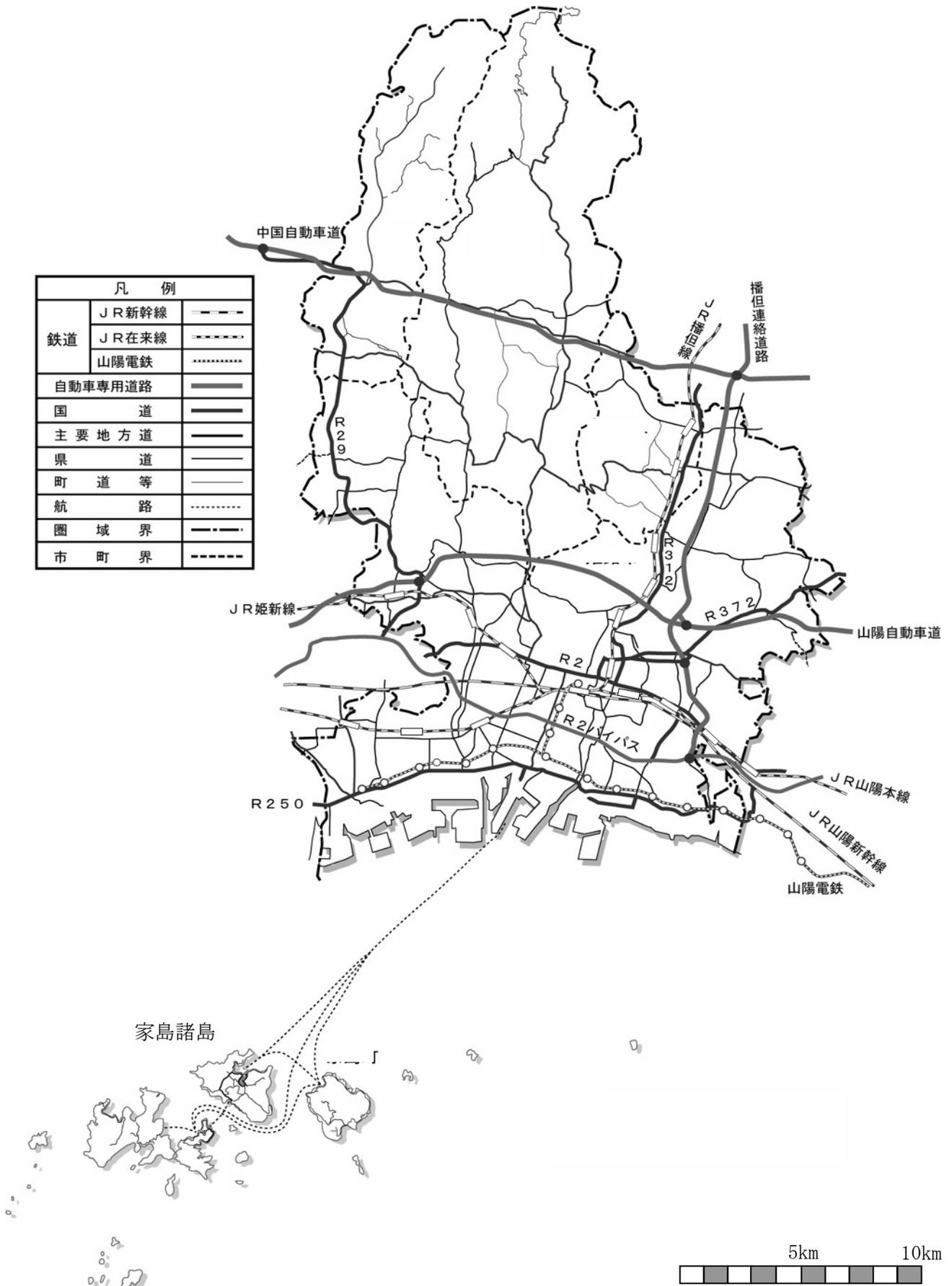
※ ()は再掲

(3) 港湾

本市には、臨海部東西約18kmにわたり、西より西部工業港区・網干港区・広畑港区・飾磨港区・東部工業港区・白浜港区の6港区からなる国際拠点港湾の姫路港、地方港湾である家島港がある。



【交通体系図】



6 自衛隊施設

本市には、陸上自衛隊姫路駐屯地があり、主な部隊として第3特科隊、第3高射特科大隊が駐屯している。

7 その他施設の状況

(1) 石油コンビナート施設等の状況

本市には、石油コンビナート等災害防止法で定める特別防災区域に姫路臨海地区が指定されている。姫路臨海地区は、次の5ブロックに区分できる。

令和 5年 4月調査

地 区	面 積 (㎡)	世帯数	人口 (人)	特定事業所数
白浜・妻鹿地区	3,128,500	8	18	3
中島・須加・今在家地区	5,287,500	94	173	3
広畑区・大津区地区	7,695,300	43	72	5
新在家地区	1,288,900	4	12	1
興浜・浜田地区	1,584,800	7	13	2
合 計	18,985,000	156	288	14

(2) ダム施設

本市には、洪水対策や水の確保などを目的とした神谷ダム、安富ダム、菅生ダムが設置されている。

ダム名	水系名	河川名	位 置	総貯水容量 (千㎡)	設置年度
神谷ダム	市川	神谷川	姫路市豊富町神谷	16,600	H12年度
安富ダム	揖保川	林田川	姫路市安富町皆河	2,950	S60年度
菅生ダム	夢前川	菅生川	姫路市夢前町蒔野	1,950	S53年度